

## 再評価結果（平成22年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：深澤 淳志

<b>事業名</b> 地域高規格道路 上信自動車道 一般国道353号金井バイパス	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 群馬県	
<b>起終点</b> 起点：渋川市金井地内 終点：渋川市金井地内		<b>延長</b> 1.0km	
<b>事業概要</b> 一般国道353号金井バイパスは、群馬県渋川市の関越自動車道・渋川伊香保ICと長野県東御市の上信越自動車道・東部湯の丸ICに至る延長約80kmの「上信自動車道」の一部を形成し、渋川市内の慢性的な交通渋滞を解消し、安全で安心な県民生活を確保するために欠くことのできない重要な地域高規格道路である。			
H17年度事業化			
<b>全体事業費</b> 37億円		<b>事業進捗率</b> 0.1%	
<b>計画交通量</b> 12,900台/日（平成42年度）		<b>供用済延長</b>	
<b>費用対効果分析結果</b>	<b>B/C</b> (事業全体) 1.6 (残事業) 1.7	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 30/32億円 (事業費：30/31億円) (維持管理費：0.86/0.86億円)	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 52/52億円 (走行時間短縮便益：35/35億円) (走行費用減少便益：0.09/0.09億円) (交通事故減少便益：16/16億円)
<b>基準年</b> 平成21年			
<b>事業の効果等</b> ・上信自動車道の整備により、地域間交流の拡大、観光地へのアクセス向上、災害時の代替路、人や物流の円滑化、など様々な効果が期待され、地域の経済発展や地域活性化に大きく寄与する。			
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> ・渋川市等、通過予定沿線の3市4町3村で構成される「上信自動車道建設促進期成同盟会」から早期整備要望を受けている。(平成21年9月9日)			
<b>群馬県公共事業再評価委員会等の意見</b> ・事業継続 ・群馬県知事の方針：委員会の意見を受け、事業継続とした。			
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> ・特になし			
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> ・平成21年7月に地元住民に対して事業説明会を開催。			
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> ・本バイパスは隣接する直轄事業の渋川西バイパスと連携を図りながら事業を進めてきたところ。地元調整等に不測の時間を要したところであるが、今年度概ね整った。今後、道路設計、用地買収を推進し、早期供用を図る予定。			
<b>施設の構造や工法の変更等</b> ・プレキャスト製品、再生材の活用により、一層の工期の短縮、コスト縮減に努める。			
<b>対応方針</b> 事業継続			
<b>対応方針決定の理由</b> ・以上の事業の効果及び、再評価委員会における審議、知事の方針を踏まえると事業の必要性・重要性は変わらないと考えられる。			
<b>事業概要図</b>			

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。